

有償開放特許

端末装置のリモート電源制御の2重化方法およびリモート電源制御が2重化された端末装置ならびに記録媒体

公開
番号

特開 2001-202162 号

■有償開放お問合せ先■

法務・知的財産権部
電話：076-283-9431
Eメール：patcp-g@pfu.fujitsu.com

適用製品

電源切断の運用を改善する端末装置のリモート電源制御の2重化方法およびリモート電源制御が2重化された端末装置

目的

リモート電源制御の2重化を行って管理者の手操作による電源切断を減少し、手操作で電源切断を行っても、ハードディスク等記憶装置のデータ保護が行われる、パソコンが遠隔地に設置されている場合でも電源切断が可能にする。

技術の内容

【技術的背景】

施設等に設置された案内端末等不特定多数の人が利用する端末は、ネットワークを利用した端末装置の一括管理機能の1つとして、サーバからのリモート（遠隔）電源制御が一般的に行われている。従来、サーバからの電源切断指示は右上図のように通信中継を行うHUBとネットワーク通信制御部を介して、電源制御部に伝えられ電源切断が行われる。しかしながら、ネットワーク通信制御部が異常の場合は、サーバからの電源切断指示が受信できず、管理者が出向いて手操作で電源切断が必要という問題があった。また、パソコンの主制御部が異常時に、手操作で電源切断を行うと、ハードディスク等記憶装置のデータ保護が行われずにデータが壊れることがあるという問題があった。一方、パソコンが遠隔地に設置されている場合は、管理者が出向いての電源切断が困難という問題があった。

【本技術の要約】

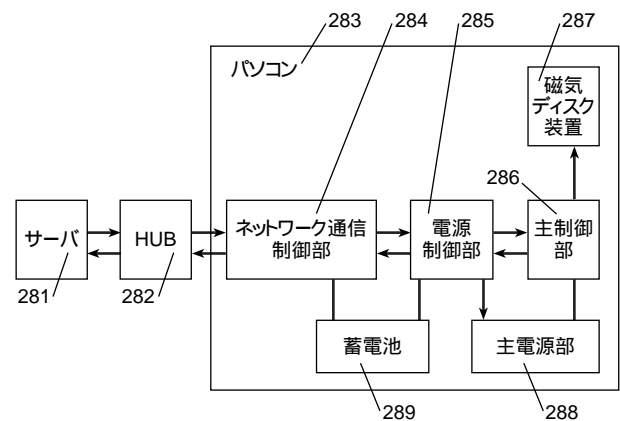
端末装置がネットワーク通信以外の別インタフェース通信手段を具備し、サーバから別インタフェース通信手段でつながるその他の端末装置経由でネットワーク通信制御部に初期化指示を送って、ネットワーク通信制御部の復旧を図り、また、主制御部の異常時に電源切断する場合は主制御部と記憶装置間のバスバッファを制御してデータバスを分離した上で電源切断する。

効果

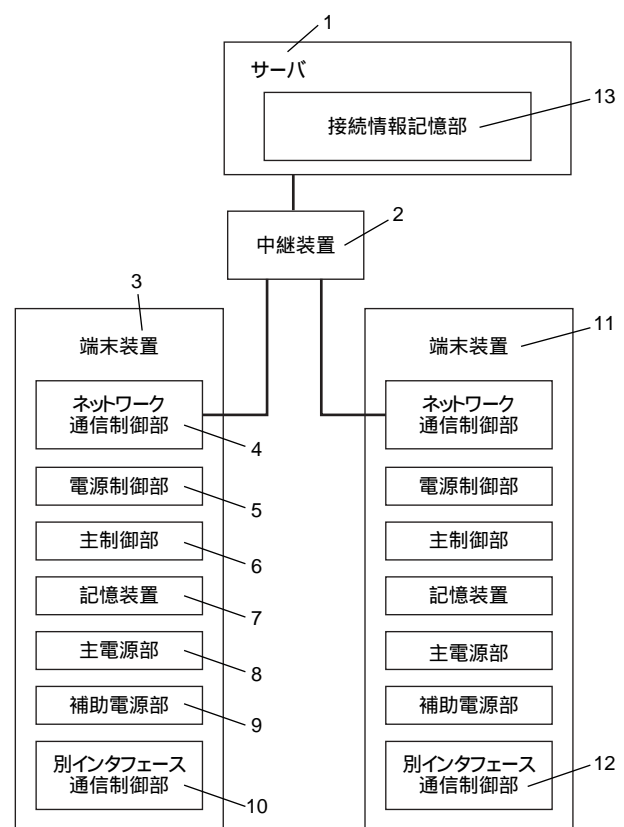
ネットワーク通信以外の別インタフェース通信手段を

具備することで、リモート制御で電源切断、ハードディスク等記憶装置のデータ保護、遠隔地設置の場合でもリモート制御電源切断ができる。

従来技術の一例の端末装置リモート電源切断での指示と応答の流れを示す図



本発明の原理構成図



有償開放特許

顧客問合せシステム

公開
番号

特開 2001-265921 号

有償開放お問合せ先

法務・知的財産権部
電話：076-283-9431
Eメール：patcp-g@pfu.fujitsu.com

適用製品

操作性を向上させることができ、かつデータベースへのアクセスも少なくして、システム負荷を軽減させることができる顧客問合せシステム

目的

予め作成した問合せ一覧および問合せと回答の内容を表示する文書を使用して表示することにより、システムの操作性を向上させ、またシステム負荷も軽減できるようにする。

技術の内容

【技術的背景】

顧客からの問合せを受け、予め設定された問合せの商品名および種別に対応した担当者に通知し、問合せ担当者からの回答を顧客に通知する、また顧客からの問合せとその回答をデータベース化し、製品企画やマーケティングに活用できる情報を提供する顧客問合せシステムが普及してきている。このようなシステムでは、製品企画担当者などが問合せと回答情報を参照するとき、通常右上図に示すような問合せ一覧画面を表示させ、参照したい件名をクリックして、その問合せと回答情報を表示する。これら一覧画面、及び、問合せと回答情報表示の際、毎回、データベースをアクセスして該当する情報のHTML文書を作成するため、表示処理に時間がかかった。また、データベースのアクセス頻度も多くなり、システム負荷が大きいという問題があった。

【本技術の要約】

問合せ一覧および問合せと回答の内容を参照するとき、予め作成した問合せ一覧および問合せと回答の内容を表示する文書を使用して表示する。

効果

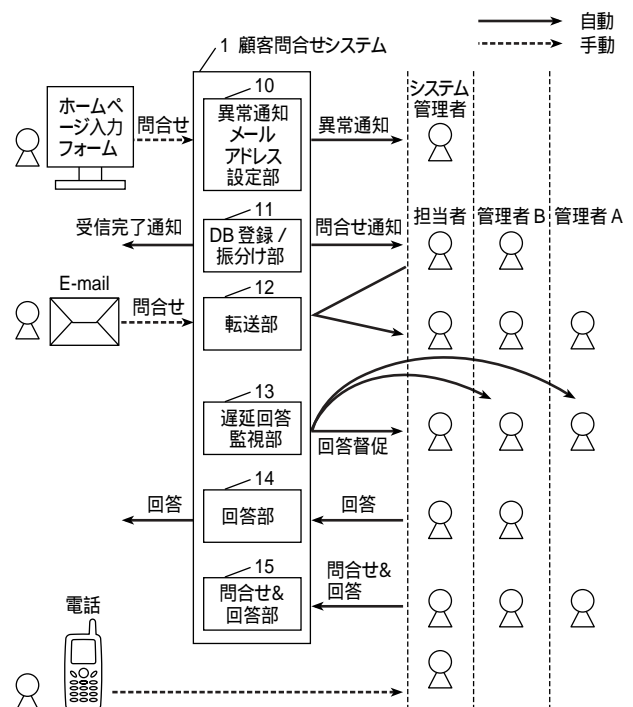
1) システムの操作性を向上させ、またシステム負荷も軽減できるようにする。

2) 一覧および問合せと回答を表示する文書を使用して迅速に表示することができ、システムの操作性を向上させると共にシステム負荷も軽減できるようになり、顧客対応の改善ができる。

従来の問合せ一覧表示画面の一実施例図

顧客問合せシステム：一覧							
	受信日付	受信時刻	回答日時	件名	商品名		
未	2000/02/23	10:34	-	XXXXXXXXXX	XXXXXXXX		▲
済	2000/02/22	14:02	02/22 20:40	XXXXXXXXXX	XXXXXXXX		
済	2000/02/21	10:06	02/21 16:30	XXXXXXXXXX	XXXXXXXX		
未	2000/02/21	09:53	-	XXXXXXXXXX	XXXXXXXX		
済	2000/02/19	17:18	02/20 11:45	XXXXXXXXXX	XXXXXXXX		
済	2000/02/19	10:02	02/19 15:20	XXXXXXXXXX	XXXXXXXX		
済	2000/02/17	11:02	02/19 10:30	XXXXXXXXXX	XXXXXXXX		
済	2000/02/15	08:45	02/15 15:33	XXXXXXXXXX	XXXXXXXX		
済	2000/02/15	15:02	02/16 11:21	XXXXXXXXXX	XXXXXXXX		
:	:	:	:	:	:	:	:
:	:	:	:	:	:	:	:

本発明の顧客問合せシステムの構成ブロック図



有償開放特許

不正監視装置およびその制御方法ならびに記録媒体

公開
番号

特開 2000-322663 号

■有償開放お問合せ先■

法務・知的財産権部
電話：076-283-9431
Eメール：patcp-g@pfu.fujitsu.com

適用製品

比較的小規模な装置に内蔵して、小型で安価に実現できる、不正監視装置

目的

比較的小規模な監視対象装置に内蔵し、監視対象装置が非稼働状態の時の防犯対策用の、小型で安価な不正監視装置にする。

技術の内容

【技術的背景】

チケット発券を含む自動取り装置において、例えば、チケット販売機等は1日の一定時間のみ稼働し、深夜などは非稼働状態となる。このような装置内には通常収納庫があり現金等が格納されている。この自動取り装置が非稼働状態の時に、扉がこじ開けられる等の不正操作を監視し、その不正操作が発生したことをアラームとして通知する機能は防犯対策として重要な要素となる。右上図は防犯機能の従来技術の図を示すものである。同図において、監視対象装置は、所定の場所に設置され、その近傍に不正監視装置を設置する。不正監視装置は、監視機能部と通知機能部とからなり、監視機能部は、カメラによって監視対象装置を監視し、通知機能部によってその不正操作が発生したことをアラームとして通知する。前述のように、監視対象装置を導入する側にとって不正監視装置を設置する際に、多額の費用と、不正監視装置の設置スペースとを必要とするという問題があった。

【本技術の要約】

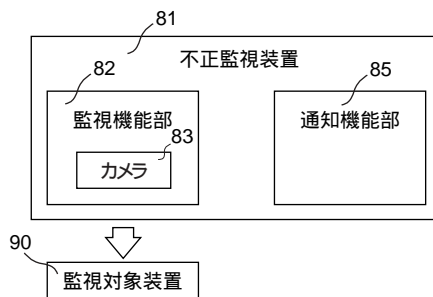
電池等の独立した電源部と、被監視装置が稼働状態かを検出する第1検出手段と、被監視装置が不正に操作されたかを検出する第3検出手段と、第3検出手段が被監視装置の不正操作を検出した場合に出力信号を出力する第4検出手段とを、被監視装置内に内蔵し、第4検出手段が出力する出力信号によって駆動され被監視装置が不正操作されたことをアラーム出力する通知手段を設け、また被監視装置の運用形態によって被監視装置が非稼働

状態において正規手順に従って条件を解除されたことを検出する第2検出手段を備える。

効果

各種の検出手段を、被監視装置内に内蔵して、監視対象装置が非稼働状態の時の防犯対策用に、小型で安価な不正監視装置にできる。

従来技術の図



本発明の構成図

